

はままつじょうはっくつつうしん
浜松城発掘通信

№4

浜松市文化財課（浜松市地域遺産センター）

2018年3月20日

今号は、調査を完了した富士見櫓跡地の調査成果を紹介します。

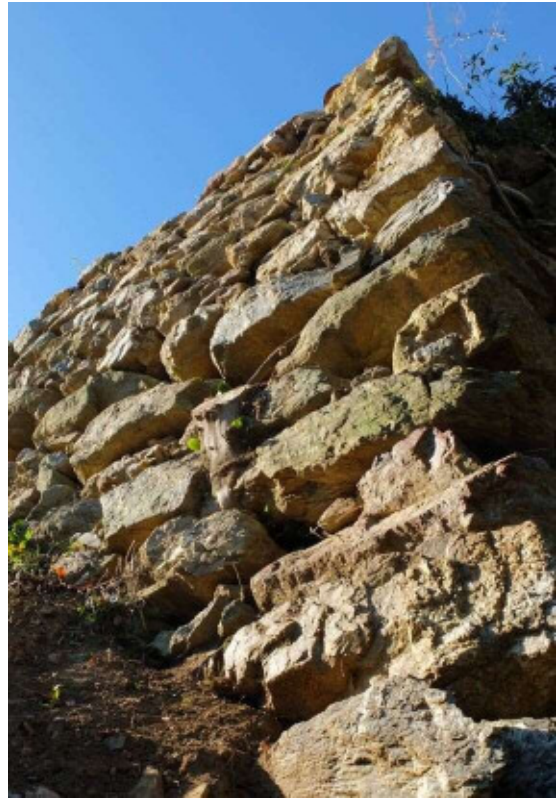


富士見櫓の調査状況 この度の発掘では天守曲輪とともに、富士見櫓とその周辺でも発掘を行いました。こちらの調査区でも重要な成果があがっています。調査は既に終了しておりますが、その一部を紹介いたします。



富士見櫓西側土塁の石垣

富士見櫓よりも西側の土塁には土に埋もれて石垣が良好に残存していました。



富士見櫓の石垣

富士見櫓の北東側隅角の基底部を検出し、独特の石垣構築技法を確認いたしました。



富士見櫓東側土塁の残存状況と瓦の出土状態

富士見櫓より東側土塁は2m以上土に埋もれていることが判明しました。石垣を覆う流入土中には、かつて土塚に葺かれていた瓦が数多く含まれています。

浜松城の発掘調査は3月2日をもって終了いたしました。調査にかかわるご理解、協力をご感謝申し上げます。今後は、出土品などの整理作業を進め、浜松城の実態解明をさらに進めます。現地調査に引き続き、今後の研究の進展にも是非、ご注目下さい。